平成 24 年度「いしかわ学びの指針 12 カ条」推進校 概要説明資料

学ぶ意欲を育て、自ら考え伝え合う生徒の育成 ~「書く活動とその評価」を通して~

1. 松陵中学校の現状

- ・規範意識や学習意欲が低い
- ・書くことはできても内容が不十分である
- ・自分の考えを伝える力が不十分である
- ・書くことに抵抗がある生徒が多い
- ・学力に二極化が見られる

2. 研究の流れ

 (1年目)
 (2年目)

 書く力の育成
 聞く力・話す力の育成

 学習意欲・学習習慣
 主題

3. 今年度の重点

[授業づくり]・書く活動の充実(指針①)

[基盤づくり] ・書く力の定着とその評価(指針④)・学習習慣(規律)の確立と意欲向上(指針⑦)

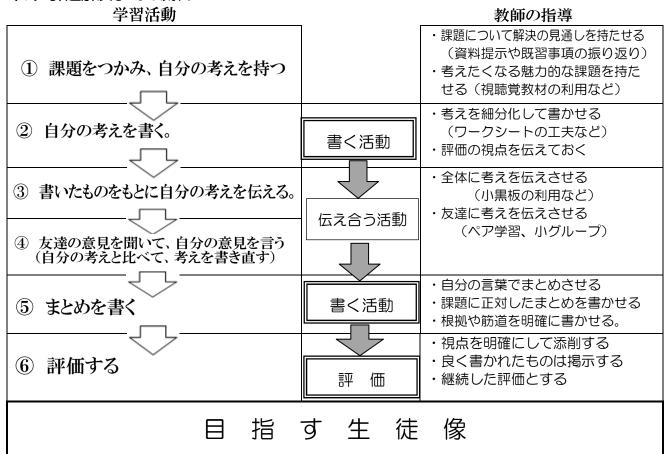
[体制づくり] ・教師の授業力の向上(指針⑪) ・取組の発信(指針⑫)

4. 目指す生徒像

- ・自分の考えをすすんで書くことができる生徒
- ・根拠や筋道を明らかにして、自分の考えを書くことができる生徒
- ・評価を通して、書くことの必要性や自分の成長を実感できる生徒

5. 重点をふまえた取組

(1)課題解決までの流れ



(2) 「書く活動」の視点

- ◇ 根拠や筋道を明確にして、自分の考えを書く。(授業づくり)
- ◇ 書くことを通して、考え方を身につける。(基盤づくり)

(3) 「伝え合う活動」の視点

- ◇ 自分の考えを、自分の言葉で伝える。
- ◇ 友達の考えを聞いて、自分の意見を述べる。

(4) 「評価」について

◇ 視点や観点を明確にした評価(自己評価)

(5) 学習規律の確立のために

- ◇授業の約束4カ条
- ①学習用具や服装を整える ②ベル着をする ③始めと終わりの挨拶をする ④私語をしない

(6) 学習習慣の確立のために

- ◇ 家庭学習のすすめ・ワンランクアップの家庭学習の配布と学級での指導
- ◇ 全学年、学年ごとの取組(自主勉2P、1時間以上の家庭学習)

(7)研究計画と検証方法について

検証計画・検証方法

- (1)全国学力学習状況調査(国AB・数AB)、県基礎学力調査(社・理・英) 市内学力調査 1,2年(5教科)、過去問(2月に実施)との比較、前年度との比較(5月中)
- (2) 生徒・教師「学習に関する調査」 前期(7月)の結果を受けて授業改善に生かす 前期・後期(7月・12月)の比較、前年度との比較
- (3)「学習時間調査」の推移

毎月1回実施・結果を共有し指導に生かす

(4) 校内研究(言語活動の充実) 全体研修会・授業研究(月1回)

	4・5・6月	7・8月	9月~	11月	1 2月	1月~
(1)	全国学力学習状況調査 (3年生) 分析・対策					
	県学力調査(3年生)	学力調査 (3年生) 学力調査 分析・対策			市内学力テスト(1・2年生)国社数理英	
(2)		生徒・教師 学習に関する調査①	分析・対策		生徒・教師 学習に関する調査②	
(3)	学習時間調査(5月・6月・7月・9月・10月・11月・12月・1月・2月・3月第1週)					
(4)	今年度の学力向上ブラン共通理解		見直しプラン作成		来年度の学力向上プラン作成	
	各教科の具体的取り組み		各教科の具体的取り組み			
	授業研究(月1回)					
その他	指導主事計画訪問	市教委学校訪問	指導主事	要請訪問		
	校内学力診断テスト (1・2年生)		市内校長会テスト(9月・10月・11月・1月・2月)(3年生)			